

ライオンズクラブ国際協会331-C地区会報

THE LIONS

ECHO

エコー



LIONS CLUBS
INTERNATIONAL
DISTRICT 331-C
2014-2015

Vol.6
2015



2014～2015年度国際テーマ

ハイライト：誇りを高める



331-C地区 ガバナーズローガン 2014～2015

《今こそ「原点回帰」。心を一つに動いてみませんか!》 **To one heart !**



第61回地区年次大会速報



前夜祭 日時：5月16日(土)
18:00～22:30
場所：函館国際ホテル

大会式典 日時：5月17日(日)
9:30～12:30
場所：函館市民会館

ごあいさつ

ライオンズクラブ国際協会
331-C地区ガバナー
L松浦 則雄

第61回ライオンズクラブ国際協会331-C地区年次大会の開催に当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

ご当地函館は桜吹雪舞い散る、今まさに春らんまんです。風にそよぐ木々の緑もまぶしいさわやかな季節を迎え、本日ここに函館市長の工藤壽樹様はじめ、各界のご来賓の皆様方、ライオン及びライオネス同志の皆様方、さらにはライオンレディの皆様方総勢約800名のご参加を賜り、このように盛大な式典が行われる事は、この上ない最高の喜びであるとともに、参加された皆さま方にあらためて心より感謝申し上げます。

私は、昨年7月にカナダのトロント国際大会最終日に、高橋前ガバナーによってガバナーエレクトリボンを「外された瞬間」に、ガバナーに就任してから間もなく1年が経過します。帰国早々、7月第1回目のキャビネット会議の開催を皮切りに、12カ所のガバナー公式訪問や、各種事業委員会によるセミナーなど、計画したすべての事業を遂行することができました。あらためて、キャビネット役員とメンバー同志の皆さま方のご協力のおかげ様と、お礼を申し上げます。

この間の出来事は、今までの我が人生の「ライフワーク」の中でそんなに「急いでどこへ行くの?」と、正に「始め処女の如く、あとは脱兎(だっと)のごとく」と言う、あっという間に、「猛スピード」で過ぎ去った、大変多忙を

極めた一年間でした。

私は、ガバナー方針を実行してもらうために、今こそ「原点回帰」。心を一つに動いてみませんか!をスローガンに、ガバナー公式訪問や会長会議などの、機会あるごとに、「できるだけ親しみを込めて」を肝に銘じながら、地区メンバーの皆さんの理解を深めてきました。

おかげ様で10月8日の、ライオンズ奉仕デーに標準を合わせた、「献血アクティビティ」と「タオルボランティア」の、全クラブ統一アクティビティは、見事に完遂することができました。本当にありがとうございました。

またジョープレストン国際会長のキーワードである「ASK 1(アスクワン)」、「一人が一人を誘う」アクションを実践した結果、地区メンバーが2000名に手が届くところまでできました。念願の会員増強を達成したいという、私の所信表明が実現できたことに対しまして、感謝と感激しております。

さらには「クラブ新設」もガバナーの重点目標であります。「函館みなとライオンズクラブ」と言う、新クラブが3月に誕生しました。横田新会長を中心にクラブが丸となって、1年がかりで30名のメンバーを集めることができました。あらためて感謝とともにお祝いを申し上げます。

これまで世界的にも日本も、ライオンズクラブの会員は、減少の一途をたどり、会員増強が喫緊の課題でありました。しかし次期山田国際会長の会員倍増計画提唱により、特に「家族会員」を中心に会員のボトムアップ現象が起きました。ご多分に洩れず私どもの地区でも、坂本GMTと藤井GLTコーディネーターなどのたび重なる「各種オリエンテーション」実施が功を奏し、メンバーの理解が深まり、家族会員制度を活用した会員増強を図ることができました。

奉仕するために「より多くの人を必要とする」事は周知の事実です。正に会員増強は、

そのための基本的なアクションに過ぎません。我がメルビン・ジョーンズは、「人のために尽くせば、それは何かの形で返ってくる。そして報酬をあてにしない陰徳を積みめば、人は必ず精神的・肉体的な健康を得る事が出来る」という格言を残しております。

ライオンズクラブは今から2年後の、2017年には100周年を迎えます。初心に立ち返ろうと言う意味の「今こそ原点回帰」は、奇しくもガバナーになった自分に対する戒めでもありました。皆さまには釈迦に説法かも知れませんが、創立者の基本理念を思い起こすきっかけの一助になれば幸いです。

結びに当たりまして、2012年の第2副地区ガバナー就任から、現在のガバナー職務を遂行するに当たり、3年間と言う長きにわたりまして、地区クラブすべてのメンバー同志から、絶大なるご支援とご協力を賜りました事に対しまして、あらためて心より御礼と感謝を申し上げます。

また地区クラブの益々のご繁栄と、メンバー同志のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。これまで経験した数えきれないほどの「ガバナーサプライズ」は、生涯忘れることのできない貴重な「宝物」になりました。本当にありがとうございました。

「心をひとつに動いてくれてありがとう」To One Heart!





第4回キャビネット会議開催



日時 2015年4月11日(土) 13:30~18:00
場所 (株)五島軒本店 2F 芙蓉・丹頂の間

《地区ガバナー挨拶》

地区ガバナー L松浦 則雄

■ 去年7月カナダトロントにてガバナーに就任、本日の第4回CAB会議が最終回。

役員の方には、ガバナーズローガン・執行方針を守っていただけて無事終了することができそうである。会員増強はどこ地域でも苦慮しているが、お陰さまで4月9日現在会員数は1,964名。昨年、年次大会で2,000名を是非達成したいとお願いしたが、あと36名プラスすると2,000名に達する見込みである。

ASK1運動の成果であると、会員増強に関し皆様の協力に感謝申し上げます。

ガバナーのミッションであるLCIF献金も、3月末現在60,000ドルで年度初め目標の500万円は達成できて、多くのクラブ献金とMJF献金をいただいた事に御礼申し上げます。

■ ガバナーズローガンは2つの大きな目標を掲げた。1つはタオルボランティアアクティビティ。3月末現在41クラブ18,580枚抛出、これを地元68施設に寄贈していた

だいた。未報告のクラブもあり、委員長は52クラブ実行し最終20,000枚以上と予測。この労力を金銭に換算すると1,000万円以上に匹敵する。特に上磯LCは最高枚数の3,230本も貢献いただいた。

献血アクティビティは37クラブ1,756,800mLと言う、大きな採血量をいただいた。特に1番は昨年同様函館元町LCの295,000mL/25回、毎月2回位おこなっている。タオル及び献血のご努力にお礼申し上げたい。

■ 重点項目外の継続アクティビティのリサイクルメガネは26クラブから、使用済み切手も多数のクラブから収集いただいたので、これから大会後オーストラリアに送りたい。

会員の1,964名は52クラブの他に新クラブ函館みなとLCも入っている。新クラブは3月7日結成式、29名のメンバーで発足。同クラブの役員からは6月末までは42名を目指すと報告を受けている。5年振りの新クラブ誕生であり、心からお祝いを申し上げます。

■ この会議終了後と同時に5月16日、17日は函館CABの集大成である、前夜祭・大会式典の準備に全力投球する。

大会式典の成功不成功はできるだけ多くの会員が参加するかどうかで成功のカギを握っている。

私の思いはこれまでエコー誌第5号にガバナー東奔西走記として其の8を書いている。

何れにしても、世界にいる755名のガバナーの、一人として地区の皆様に応援いただき運営してきた。やる前は何で私がガバナーをとの思っていたが、今はなごりおいしい気分、この経験に感謝申し上げたい。大変な思いと同時に倍以上の楽しい思いがあるのは、各クラブを訪問し人脈もできた結果である。

本日で最後の第4回CAB会議を、スムーズな運営と議事進行にご協力願いたい。

《地区名誉顧問会議長挨拶》

名誉顧問会議長 L高橋 和雄

■ 松浦ガバナーは昨年7月から今日まで様々な出会いを通して沢山の宝物を手に入れたようである。この宝物を胸にしな来月の年次大会の最後までご努力していただきたい。又今日までここにおられる関係役員等の方と松浦ガバナーの大変な思いを一緒に頑張ったことに対しご苦労様と申し上げたい。

地区名誉顧問会議はガバナーの諮問機関であり、CABの運営が円滑に動けるようにいただいている役割である。

審議事項第1号～第5号までの議案が全く異議なくご了解いただいた次第である。

■ 331準地区の現況だが、20年前は3,000名を超える会員数67クラブがあったものの、現在は53クラブ1,800名を超えるプラスαの家族会員の集まり。当時から大きく減っており、10年後をシュミレーションをすると、例えばクラブ・CABの財政を捉まえた場合、財政破綻しかねない現状下。財政上の問題を現実から逃れることなく改革を実行をしていくことに尽きる。第4回CAB会議は従来2日間制であったものを今期1日に短縮したのも経費削減のひとつだ。次期ガバナーL佐々木忠康は来期RCを置かないで、来期ガバナー公式訪問も従来の12回から9回としたのも合理化だ。

地区の事情を鑑みながら協力をいただき少しでもお金

がかからないよう、メンバーに負担にならない配慮の中でCABそのものも少なからずとも改革を実行している。

■ ガバナーチームはCAB内のシステムだが、今期も見事にチームが問題を話し合っ決めていく。

来月は年次大会、1年間の集大成。それぞれの役務を通して責任を持って一つの完成品にして、もの見事に大会で開花していただきたい。1年間有難うございました。

《長期計画リサーチ委員会報告》

長期計画リサーチ委員会委員長 L奥山 幸一

■ 本日第4回CAB会議で松浦ガバナーは1年間大変楽しかったと挨拶していたが、その裏には大変な思いをした時もあったと察する。ガバナーはじめ函館CAB運営関係者が4回の会議を務められたことに対し敬意を表したい。

長期計画リサーチ委員会報告はなし。

MD会則委員会の委員長を務めているが、第3回委員長連絡会議が東京であったのでその報告をしたい。

懸案であった家族会員の義務について結果が出た。ライオンズ必携に会員種別と義務がある。正会員、賛助会員等の種別。今回正会員を二つに分けた。正会員①一人目の家族会員/世帯主(今までの親会員)②二人目以降の家族会員と明記した。義務は定期的出席、会費、クラブ活動参加、等あるが大事なことは次の3点。ライオンズ必携54版は「定期的な出席」に改正、55版は「定期的な出席(例会)」に改められる。

正会員	定期的な出席(例会)	会費	クラブ活動参加
①一人目の家族会員/世帯主	要	要	要
②二人目以降の家族会員	(可能な時)	国際会費半額	可能な時

必携は毎年改正されている。皆様は必携を熟読して正しく理解して頂きたい。

1年間の協力に厚くお礼を申し上げます。



キャビネット会議開催

《報告確認事項》

キャビネット幹事 L後藤 彰

■ 次期第3Rは1Zが第1Z・第2Zに分かれる。次期第3R第2Z ZC候補者に室蘭東LCL高橋伸介が推薦されている。同じく次期第3R第2Z Z委員候補者に室蘭東LCL及川隆が推薦されている。

■ (新クラブの函館みなとLCへの例会備品準備金についてキャビネット会計L佐藤勝也より報告)
函館みなとLCの結成にあたり、CABからの祝金を地区運営基金から50万円差し上げたいと考えている。

■ 331MD地区緊急援助資金補填についてのお願い。
今期は「広島土砂災害」と「エボラ出血熱指定LCIF献金」に各100万円の200万円拠出。331MD緊急援助資金規定には資金の積立基準額は1,000万円を保つとなっている。現在拠出により残高は8,208,787円となっており、基準額に不足している。規定に基づき次年度に会員一人当たり上期150円、下期150円の合計300円の拠出で残高は10,111,387円となる。

■ 次年度国際山田實広会長公式訪問日程は公式訪問は2015年9月10日に、旭川市で開催。(場所は旭川グランドホテル)そのあとに同会場にて安井国際理事就任祝賀会を開催。
クラブ提出議案はなし。

《審議事項》

議長 地区ガバナー L松浦 則雄

第1号議案 第61回地区年次大会における通期決算審議を次期キャビネットに委譲する件について

地区ガバナー L松浦 則雄

◎提案理由

2014～2015年度通期決算報告は、地区年次大会が年次途中のため報告が不可能であるため、同年度後期決算を含む通期会計決算報告については、次期キャビネット会議に審議の権限を委譲する事を賛成多数

により承認された。

第2号議案 次期キャビネットについて
次期キャビネット幹事予定者 L増田 通彦

第3号議案 次期第2副地区ガバナー立候補者届出について

地区ガバナー L松浦 則雄

昨年第4Rにローテーションにより選考の使命があり第4R名誉顧問3名に地区会則に基づき世話人会を私は委嘱した。第4R12クラブからふさわしい方を選考いただきたかったが、現在の環境、諸般の事情に至り立候補者届書を受理出来なかった。この時期に履歴書等を提出出来なかった。その報告としたい。

第4号議案 新クラブの函館みなとLCについて

地区ガバナー L松浦 則雄

新クラブの函館みなとLCは3月7日函館グリーンLCスポンサーにより結成式が行われた。メンバーは29名。この先42名の予定。

第5号議案 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に対して日本LCの協力について

地区ガバナー L松浦 則雄

C地区については第3回CAB会議で報告、承認を得ている。330MDの決議に基づき7MDも支援したい。331MDではABC地区それぞれに任せることになっている。

C地区では次年度より会員一人当たり半期500円、年間1,000円、5年間で5,000円。53クラブに協力お願いにとどめたい。ABは地区大会で提案。今回当地区は賛同への再確認である。

■1号から5号まで議長より審議・採択を求め、賛成多数により承認された。

■ 質疑応答なし。

《地区コーディネーター報告》

LCIFコーディネーター L佐々木 忠康
 GMTコーディネーター L坂本 誠一
 GLTコーディネーター L藤井 幹久

《リジョンチェアパーソン報告》

第1R リジョンチェアパーソン L紺谷 ひろ美
 第2R リジョンチェアパーソン L山下 正
 第3R リジョンチェアパーソン L寺田 澄男
 第4R リジョンチェアパーソン L堀野 明
 第5R リジョンチェアパーソン L吉原 成昌

《ゾーンチェアパーソン報告》

第1R第2Z ゾーンチェアパーソン L菊池 祐司
 第2R第1Z ゾーンチェアパーソン L吉田 浩一
 第2R第2Z ゾーンチェアパーソン L吉田 政司
 第3R第1Z ゾーンチェアパーソン L田村 賢文
 第4R第1Z ゾーンチェアパーソン L富山 信行
 第4R第2Z ゾーンチェアパーソン L石岡 憲義
 第5R第1Z ゾーンチェアパーソン L福森 希志雄
 第5R第2Z ゾーンチェアパーソン L加藤 和東

《委員長報告》

地区大会・国際大会国際関係委員会委員長 L志賀松 晋
 ライオンズクエスト委員会副委員長 L瀬尾 昌宏
 献血・献眼・献腎保健委員会委員長 L片石 明彦
 青少年キャンプ及び交換委員会委員長 L滝沢 富人
 環境保全・社会福祉委員会委員長 L吉田 裕幸
 青年アカデミー・アラート委員会委員長 L高橋 正人
 青少年指導・薬物乱用防止委員会委員長 L川村 泰章
 会則委員会委員長 L佐藤 幸春
 家族会員・女性会員ライオネスクラブ
 エクステンション・会員増強維持委員会委員長 L斉藤 尚仁
 PR・情報・IT委員会委員長 L酒井 好一

《ライオン誌日本語版委員会》

地区名誉顧問 L中島 辛
 ライオン誌4月号に薬物乱用ページを8頁とっている。3
 31-Cでは5月号、6月号と2カ月続けての特集予定。5
 月号に函館元町LCの障害者スポーツ大会に6頁とっ
 ている。6月号有珠山ジオパークに6頁の特集。ユネス
 コの支援によりできた世界ジオパークの登録は日本で
 最初。同じ地区からの2カ月続けての特集は今までは
 ほとんどない。



2015年(平成27年) 於：五島軒



ライオンズクラブはなぜ今、会員増強か？

会員増強は永遠のテーマであるものの、必ずしも全てのメンバーが理解と認識を深めているとは限りません。「たかがライオンズ、されどライオンズ」使命感に燃えたるライオンズマン(ウーマン)が、この難題を解決しなければ「ライオンズクラブの明日は」消滅の一途をたどるのではないのでしょうか？

今期函館CAB役員に実施したアンケート方式の回答結果をもとに公開します。

問題解決するための明快な解答と特効薬はないかも知れませんが、地区メンバー一人ずつがこの「難題」を重要事象と実感するきっかけになれば幸いです。

※(A)は匿名及び編集上、同意義の回答をまとめて記載しました事をご容赦ください。(文責L松浦則雄)

《誌上討論会開催》

■アンケートクリエイター

ガバナーL松浦則雄

■参加ライオン

L坂本誠一(地区GMTコーディネーター)L藤井幹久(地区GLTコーディネーター)L紺谷ひろ美(第1RRC)L山下正(第2RRC)L寺田澄男(第3RRC)L堀野明(第4RRC)
L吉原成昌(第5RRC)L真柄克紀(第1R第1ZC)L菊地祐司(第1R第2ZC)L吉田浩一(第2R第1ZC)L吉田政司(第2R第2ZC)L田村賢文(第3RZC)L富山信行(第4R第1ZC)L石岡憲義(第4R第2ZC)L福森希志雄(第5R第2ZC)L加藤和東(第5R第1ZC)

(Q質問)ライオンズクラブはなぜ会員増強が必要か？

(A回答)①世界最大の奉仕団体と言う「名誉と誇り」を維持するため。

②個人ではなく組織である以上常にクラブ員が一体となって無心に、永続的に発展させるミッションを成就するため。

③クラブの収入源として会費が必要だ。一定の人数がいなければ組織活動が維持できない。ただ、急激な

組織拡大は「組織崩壊」の危険性もある。

④クラブの活性化とより良いアクトの推進。さらにライオンズクラブの理念を地域に敢行して、奉仕の輪を拡大するために増強は不可欠だ。

⑤地域はもちろん、世界の奉仕と平和を目的とした高邁な奉仕団体である事を知らしめる使命感を達成するため。「人ごとではなく、自分ごとと考えて」強い気持ちで実践する事が必要だ。

⑥高齢化を解消するために特に若い人を中心に増員しなければ、このままではC地区がなくなる。その際クラブ会費の減額などを検討するべきだ。

(Q質問)どうしたらGMT・GLTコーディネーターの会員増強効果がでるか？

(A回答)①クラブ内のGMT・GLTの認識に温度差があり、殆んど機能していないので、(地区GMT・GLTコーディネーターに)例会に出てもらいオリエンテーションをして、意見交換をするべきだ。クラブGMTは意識の高いクラブ会長を充てたほうがよい。

②会員増強の効果がでているクラブ手法の情報を公開して、活用させる。クラブ内の理解度が不十分のた

め積極的な討論会を深めるべきだ。

③メンバーのスキルアップを図るために徹底的な情宣と指導を推進するべきだ。何よりもクラブの理解力なければ先に進まない。

④各リジョンごとに複数年対応のGLTを置き、クラブ会長・副会長とともに会員増強をコラボレーションする。GMTの必要性を検証するべきだ。

(Q質問) どうしたらライオンズクラブの認知度を高める事ができるか?

(A回答) ①地区の一斉行動として、市町村広報はじめ報道機関にアクト行事などを知らせ、新聞・テレビで情宣してもらおう。キャビネットに専門部署を設置するのも一考だ。

②青少年アクティビティやチャリティパーティなどの「挨拶」の中で、奉仕実績と実態をアナウンスして、LCの認知度を高める。

③クラブ啓蒙のポスターを作成して、メンバーの事務所や公共の施設などに掲示する。

④今年度のようなライオンズ奉仕デーに合わせたタオルボランティアなど、地区内同時多発的な活動をマスコミとフェイスブックを活用すると効果が高まる。

⑤ライオン各自が普段やっている奉仕活動の内容を、身近な友人知人など周りの人たちに積極的に「口コミ」する。これが「シンプルイズベスト」だ。

(Q質問) どうしたら魅力ある例会作りができるか?

(A回答) ①例会前日にプログラムを配布して内容を予告する。

②世代間格差があるので、他人の話聞く勉強会や意見交換会を開催する事を奨励する。

③飲み会だけに固執するのではなく、三役と計画委員会の企画力いかんで楽しくもつまらなくもなる。比較的興味を持っている町の歴史や昔話ができる講師を招いた例会を開く。ゲストスピーカーを増やす。

④地区内でクラブ間交流を深める。例会コンテストを開催する。

⑤花見例会、七夕例会、月見例会など季節に合わせた多様な例会の工夫。

(Q質問) どうしたらASK1の効果を高める事ができるか?

(A回答) ①まず各会員がライオンズを理解して、入会の喜びを感じる「ライオンズ愛」を実感する必要がある。良ければ他の人を勧誘するはずだ。誘った人が参加しやすい雰囲気での例会作りが先決だ。自分がまずライオンズに惚れなければだめだ。

②ASK1活動を浸透させて、点検結果を報告する仕組みをつくるべきだ。

③クラブ地域内のJCや会議所など他団体組織、さらに(銀行・生保・損保など)金融機関などの名簿を活用してリストアップしてアプローチする。

家族や知人など多くの未加入者が参加できる「オープン例会」開催で、LCの魅力を身近に感じてもらう。

④諮問会議の時にリジョンセミナーを開催して「会員増強の必要性」の研修を周知徹底する。

(Q質問) ガバナー有資格者として近未来、ガバナーに興味あるか?

(A回答) ①ガバナーはお金も時間もかかるので未定です。

②クラブメンバーと他クラブからの協力がある環境が整えば興味ある

③8割のLが「全く興味ありません」「お金と人望と話す力がないのでできない」という回答。

(Q質問) ガバナー選出が困難な時代、(ガバナー)推薦方法の意見をください?

(A回答) ①単一クラブから「1本釣り」の選出は無理。リジョンからクラブ三役と世話人で協議して選んだらどうか。(複数クラブによるキャビネット構成により)単一クラブへの負担を軽減する。

②ローテーションによる順番制に固執しない事と、ガバ



ナーへの負担を軽減するために2副をやめて1副に戻す。
③リジョンごとのローテーションではなく、1から5までのリジョン全体の中から適切な人を自薦他薦で選出する。早期に、ガバナー適任者情報を発掘してリーダーシップを醸成する。

(Q質問) (ライオンズクラブとは単一クラブ活動が主役) クラブ活動の活性化の特効薬をお聞かせください?

(A回答) ①特効薬はなく、地道な積み重ねしかないが、まずウィーサーブというLCの原点を皆で再確認する。同じ方向の目線で目的に向かった活動が何かを、臆せず徹底論議する。
②様々なアクティビティに若手、ベテラン総じて声掛けして、まず出席してもらう。(特に先輩ライオンの出席率が悪い場合も散見される)
③特に若手ライオンやライオン歴の浅い人を巻き込んで、新しいアクティビティでも失敗を恐れず、まず実施してみる。

(Q質問) GMT・GLT・RC・ZC経験者として今後、(クラブの牽引役である)クラブ三役の指導教育を続けることができますか?

(A回答) ①6割のLが経験を生かしてライオンズクラブ発展のために微力ながらやりますとの回答。
②2割のLが相談を受ければ自分の知っている限りアドバイスしたり、指導するのはやぶさかではないと言う回答。
③2割のLが自信がありませんと言う回答。

(Q質問) その他の意見は?

(A回答) ①一度(キャビネット)役員をやるといつまでもその時の気分が抜けきらない人もいる。
②長年、自分のクラブだけでは固定観念がつくので、他のクラブ例会を見学して刺激をもらうことにより活性化のきっかけにする。
③名誉顧問の定年制を作ってはどうか?
④会員を増やす事は永遠のテーマだが、メンバー一人ずつが他人事ではなく、もっと危機感を持って活動しなければ、目標を立てても「絵に描いた餅」になる。

《東奔西走記》其の9

ガバナーL松浦 則雄



いよいよガバナー任期中の東奔西走記も、最終章になりました。函館キャビネットの集大成である年次大会が、5月16日と17日の両日間大盛会のうちに終わる事ができました。

昨年7月ガバナー就任から一年間にわたる事業の数々

を、メンバー全員が集う総会の場で公表して全てを賛同してもらいました。

この大会はライオンズクラブの最高決議機関であります。究極のガバナー使命である会員増強は、おかげ様で

念願の2,000名達成が実現する様相です(6月10日現在1986名)。ライオンズクラブの原点はウィーサーブ(我々は奉仕する)で、奉仕活動するために人々を必要とします。メンバーひとり一人が声掛けした結果、奉仕に必要なその人々が増えたものと思います。

あるアンケート結果によると、一度もライオンズクラブへの誘いが無かったと言う回答が多数あったそうです。とにかく会員増強の特効薬は難解だと言われておりますが、件(くだん)のアンケート結果を活用して、一度は私達の知り合いにライオンズクラブへのお誘いをしてみてはいかがでしょうか?

今、ガバナーが終わる寸前、ガバナー「ビフォー、アフター」の体感、過去から今日まで生きてきて、何物にも

勝る爽快感で溢れております。たった一年間の職責をこなただけで、何を大げさな事を言っているのかと、お思いの御仁が多いかも知れません。

ビフォーは、地区の最高責任者と言うガバナーに対する、『物心両面の不安と畏敬の念』から自分とは無関心と無縁の出来事だと、誤解している方が殆どだと思います。不肖松浦がその典型的な張本人でした。

アフターは、単一クラブの運営に携わるのと違って、53クラブ約2,000人のメンバーとの、はるかに想像を絶する交流が日常茶飯事であります。正に出会いと別れが(次の新しい出会いのため)、枚挙に暇がないほど舞い込むサプライズ(驚愕)があります。ガバナー初体験ゆえの大変さは多数ありますが、数えきれないほどの楽しい事と、うれしい出来事が全ての大変さを払拭させてくれました。昔新聞記者時代、事件・事故・記者会見など日々、様々なジャンルに遭遇するたびに、毎日の新鮮さに胸わくわくした、あの頃の気持ちと似て非なるものでした。

タオルボランティアで、集まったタオルを届けた老健施設での「お爺さんお婆さん」からの感謝の気持ち。献血アクティビティに訪れた市民の真摯な態度。新入会員入会式のクラブ訪問で、新人を歓迎するメンバーの満面の笑顔。クラブ式典で栄誉を称えあうメンバー同士の誇りに満ちた笑顔。全国ガバナー同期会の集い。走馬灯のように脳裏をかすめる、地区・日本・世界レベルの「出会い」などエトセトラのすべてが楽しい思い出ばかりです。

ライオンズクラブの原点回帰は、「寛容と相互理解の精神」で相手を思いやる優しさが「ライオニズム」です。ガバナーは地区ライオンの誰にも、どんな事に対しても「耳を貸す」懐の深さが不可欠です。ただし公平無私に判断して、結果を出す事も当たり前の所作です。これらの行為はとかく「言うは易し、行ふは難し」ですが、好むと好まざるにかかわらず瞬時に決断して、あらゆる回答を出しているうちに、心得ができた自分がおりました。

ガバナー経験を経て、正にライオンズクラブが「修練と鍛錬」の場である所以であると同時に、「寛容と相互理解」を学ぶ千載一遇のチャンスだった事に感謝しております。一生勉強一生感動(相田みつを語録)かな。

昨今ライオンから総じて「ガバナーなんてとんでもない」と、敬遠されるのが落ちです。さらに無関心に近い、「ソッポを向かれる」現状を目の当たりにしました。ライオンズクラブは、LCIと言う世界組織の準地区が331-Cであり、毎年ガバナーを輩出できたからこそ、これまで97年間にわたって継続できました。皆さんが、LCI組織の一員であり、その組織を存続維持するうえで「ガバナー選出する手立て」を講じなければやがて、LCIの息吹は絶えることは確実です。

間もなく100周年を迎えるライオンズクラブの「命脈」を、絶やさないための対策を真剣に取り組んでください。いつやるの?「今でしょう!」。不肖松浦でもできたガバナー経験者だからこそ、声高に言える提言を(わいわいがやがや)ワイガヤに論議してください。しつこいですが「寛容と相互理解の精神」があれば、必ず前途洋々の結果は得ます。1年間のお付き合いと、ご支援に感謝申し上げます(了)。

《こころ(心)ころころ》poem by nonchan

①こころ(心)ころころ いいこころ(心)
 こころ(心)ころころ いいこころ(心)
 こころ(心)ひとつで こころ(心地)よい
 こころ(心)やさしい こころ(心)がけ
 こころ(心)あつたまる こころ(心)もち
 こころ(心)ころころ いいこころ(心)
 こころ(心)ころころ いいこころ(心)
 こころ(心)ひとつで こころ(心地)よい
 こころ(心)やさしい こころ(心)がけ

②こころ(心)ころころ いいこころ(心)
 こころ(心)ころころ いいこころ(心)
 こころ(心)この人 こころ(心地)よい
 こころ(心)あの人 こころ(心)意気
 こころ(心)ふわふわ 夢見ごころ(心)
 こころ(心)ころころ いいこころ(心)
 こころ(心)ころころ いいこころ(心)
 こころ(心)ひとつで こころ(心地)よい
 こころ(心)やさしい こころ(心)がけ



ライオンズアラカルトⅢ

※ライオンズクラブは発祥地がアメリカのシカゴ。用語や会議語録が難解・難問が多々。

以下思いつくまま抜粋して記載します。

■スローガン

1919年第3回世界大会で決議された。自由を守り、知性を重んじ、我々の国の安全をはかる。リバティーインテリジェンスアワーネーションズセフティの頭文字を組み合わせて、LIONSというロゴが後世に使用される所以です。

■モットー

(ウィ・サーブ)我々は奉仕すると言うモットーを、1954年に国際協会が募集したコンテストで採用された。

■ライオンズソング

ライオンズヒムはアメリカで作曲されたソングで、葛野朔太郎ライオンが作詞した。

ライオンズクラブの歌は1952年の302地区京都大会で作詞は藤浦洸さん。作曲は古関裕而が作った和製ソングである。

■ロバート議事規則

質問は一回三分で1人は2度まで。民主的な運営多数決の原理。

■プロトコール

外交儀礼の意味。

席次と接待の仕方・歓迎式典の総称で国際協会の公認プロトコール。役職順位。

■アクティビティ

活動・行動・働き。ライオンズクラブの目的達成するための使命。

金銭及び労力アクティビティの種類がある。

■エクステンション

既存のクラブがスポンサーとなり、新しいクラブを創設する事。

■MJF(メルビンジョーンズフェロー)

ライオンズクラブの創設者のメルビンジョーンズにちなんだ名称。千ドル献金を一口としてみなしてする個人献金です。20ドルクラブ献金などLCIF献金の種類のひとつです。

■アワード

毎年功績のあった会員及びクラブに対して賞を贈呈する呼称。

受賞したライオン及びクラブを見て、他の会員も受賞者の功績を理解して、我也続こうと勇み立つような雰囲気づくりの効果を期待している。

■スポンサー

ライオンズクラブへの入会は必ず所属クラブからの推薦人が必須事項です。この推薦するライオンの意味。



第1R

函館 LC

函館ワンニャンパトロール ……5月7日(木)

函館ワンニャンパトロール支援金 50,000円
 函館ワンニャンパトロールポケットティッシュ
 3,000個 25,000円

ネパール大地震被害者支援金

……………5月15日(金)

ネパール大地震被害者支援金 13,000円
 @500×26名

函館北斗 LC

箱館五稜郭祭り協賛金 ……5月7日(木)

箱館五稜郭祭り協賛金 10,000円

ネパール大地震被害者支援金

……………5月15日(金)

ネパール大地震被害者支援金 20,500円
 @500×41名

松前 LC

タオルボランティア ……5月

昨年10月8日(世界LC奉仕デー地区合同アクト)に松前の各施設(南殿荘・緑洋館・ホーム博多・さくら苑・ひだまりゆずりは・ほのか苑)の各施設にタオル1施設に(120本以上)を贈呈致しました。(総合計850本以上)

第2R

小樽 LC

小樽市春の交通安全運動に参加 ……5月11日(月)



5L×1H=5H

小樽市へ、市役所構内花壇や駅前プランターを彩る草花苗を寄贈。……………5月16日(土)

(小樽5LC合同) 10,000円



ネパール地震被災者支援金

を送金(LCIF) ……5月22日(金)

500円×40名=20,000円

岩内 LC

SLテント外し・時計塔清掃・

ゴミ拾い実施 ……4月

お天気が心配されていた中、SLテント外しを実施し黒光りした機関車が勇姿を現した。終了後時計塔清掃を行い、昨年からの実施している円山のゴミ拾いをしましたが、2tトラックいっばいのゴミの量でした。

労力ACT 30h ACT 1,080円



アクティビティの記録

自衛隊音楽隊演奏会実行委員会へ定期演奏会協賛金4月

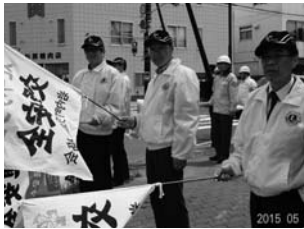
自衛隊音楽隊の「岩宇地区定期演奏会」も本年度で13回となり中学・高校への指導もしていただいている。
ACT 協賛金30,000円

円山地区ゴミ拾い実施5月9日(土)



労力ACT 30h

春の全国交通安全街頭啓発運動参加.....5月11日(月)・5月15日(金)



人と旗の「波」による交通安全街頭啓発運動が行われ、車両・自転車利用者・歩行者へ安全を呼び掛けた。
労力ACT 25h

ネパール支援金をLCIFへ送金・・5月28日(木)

ACT 18,500円

小樽グリーンLC

第39回全後志地区青少年柔道大会・・5月10日(日)



第39回全後志地区青少年柔道大会を開催。
128名の小中学生の参加のもと盛大に開催されました。
労力: 36H
金額: ¥324,801

春の交通安全街頭啓発5月11日(月)



小樽駅前において春の交通安全街頭啓発が開催され参加しました。
労力: 3H

小樽市へ草花苗寄贈5月16日(土)



小樽5LC合同で小樽市へ草花苗を贈りました。
金額: ¥10,000

小樽中央LC

小樽中央小公園清掃5月15日(金)



午後1時30分より小樽中央小公園の清掃を行った。

小樽市へ草花苗を寄贈5月



小樽5LCにて草花苗を寄贈しました。

春の全国交通安全運動街頭啓発へ参加 ……5月11日(月)



小樽駅前交差点一带において行われた街頭啓発へ参加しました。

ネパール大震災被害支援金送金 ……5月
500円×22名分=11,000円を送金

倶知安LC

**交通安全運動キャンペーンに
カレーグッズ袋詰め ……4月14日(火)**



交通安全運動街頭啓発の際にドライバーに配布する「カレーグッズ」200個の袋詰めを町内の障害者就労支援福祉施設にお願いし謝礼を致しました。
金銭ACT:謝礼 5,000円

**交通安全運動
街頭キャンペーン ……4月16日(木)**



交通安全運動街頭キャンペーンとして、当クラブ独自に於いてドライバーにカレーセット(いも・玉ねぎ・にんじん)を配布し、安全運転を呼びかけました。
金銭ACT:カレーグッズ200個=24,840円
労力ACT:22.5時間

**パトライト
(着脱式回転灯)を寄贈 ……4月27日(月)**



倶知安ロータリークラブ・倶知安青年会議所・倶知安ライオンズクラブの3団体が共同で「ひらふ地区防犯パトロール隊」へひらふ地区の交通安全と治安維持等をパトロールする「パトライト」5個寄贈。
金銭ACT:25,920円
労力ACT:3時間

交通安全運動街頭啓発に参加 ……5月11日(月)



午前9時30分より、町内各団体と共に「春の交通安全運動」に参加。「セーフティコール」「交通事故死ゼロを目指す日」の街頭啓発セレモニー及び旗波作戦を行いドライバーに交通安全を呼びかけました。
労力ACT:3時間

小樽みなとLC

**「おたる天使プロジェクト」
オルゴールを贈呈 ……4月**



平成27年4月13日～24日まで小樽で生まれた新生児へフォトフレーム付きのオルゴールを事務局でプレゼント、3月中に事前申し込みを頂いた16名へオルゴールを贈呈しました。

CN54周年記念アクティビティ ……4月25日(土)



13:00より小樽市総合博物館にて蒸気機関車アイアンホース号発着駅看板2カ所の贈呈式を行いました。CN54周年記念アクティビティとして20年間使用していた駅名看板の老朽化に伴い、新看板名を設置し当日は市教育長と共に除幕式に参加しました。



アクティビティの記録

「おたる天使プロジェクト」 オルゴールを贈呈……………5月



平成27年5月11日～22日まで小樽で生まれた新生児へフォトフレーム付きのオルゴールを事務局でプレゼント、4月中に事前申し込みを頂いた16名へオルゴールを贈呈しました。

春の交通安全運動に参加……………5月11日(月)



春の交通安全運動に参加しました。

全国みなと同名ライオンズクラブ 年次大会合同アクティビティ……………5月16日(土)



北九州門司港ホテルにて第44回全国みなと同名LC年次大会が開催されました。全国20クラブで合同アクティビティを行っておりますが、今年度は門司港の公園にベンチ2基を寄贈。

各クラブ¥20,000の協力金と、現地にてご当地オークションを開催。売上金をこのアクティビティに協力することとなり、今回も「毛蟹」を販売。毎回5秒足らずで完売するため、今回は「宝引き」を行い、皆様に喜んで購入してもらいました。

小樽市役所構内・小樽駅前通りに 植樹用花苗寄贈……………5月16日(土)



小樽市役所構内花壇・小樽駅前歩道用プランターへ植樹用の花苗を小樽5LC合同で寄贈しました。

小樽市役所有志職員「ガーデニング・ボランティア隊」による植え込み作業を終了、玄関前に潤い空間が生まれ、訪れる市民を喜ばせております。

ニセコLC

環境都市ニセコに ふさわしくクリーン作戦……………5月1日(金)



昨年「環境モデル都市」として国から選定されたニセコ町。大型連休前の5/1クリーン作戦に参加しました。ニセコアンヌプリにまだ多くの雪がありますが春息吹を感じる暖かな日でした!

ネパール大地震被災者支援 LCIFへ送金……………5月25日(月)

送金23名分100\$ 11,900円送金

京極LC

春の交通安全街頭指導 ……………5月11日(月)～5月20日(水)

0.5H×16名=8H

ネパール大地震支援金送金……………5月20日(水)

500円×17名=8,500円

小樽うしおLC

小樽うしおLC杯 第13回全国少年ジャンプ大会……………3月21日(土)



第13回小樽うしおライオンズクラブ杯全国少年ジャンプ大会が、小樽潮見台ジャンツェで開かれ、小樽や札幌など道内のほか、長野や岩手の小中学生合わせて62人が参加し、練習の成果を競った。参加17名

交通安全一斉街頭啓発・・・5月11日(月)



JR小樽駅前交差点
参加L4名

第4回街頭献血・・・・・・・5月26日(火)



12:30~16:30イオン小樽店
屋外駐車場横にて買い物客
らに献血の呼びかけをしました。
200ml 7名、400ml 40名、
合計47名17,400ml
参加者ライオン11名、レディ2
名

小樽市へ草花苗の寄贈・・・・・・・5月



小樽市へ草花の苗を寄贈
しました。(10,000円相当)

ネパール大地震被害者支援金の送金・・5月

1人500円×28L(全会員)=14,000円をLCIFへ送金しました。

第3R

室蘭LC

ネパール大地震支援・・・・5月21日(木)

ネパール大地震支援金拠出 7,000円

登別LC

新入学児童への
交通安全啓発に参加・・・・・・・4月8日(水)



市立富岸小学校にて新1年
生と父母に交通安全を呼びか
けた。

会長から、啓発物品が入っ
た袋を手渡した。

労力/1H×5L=5時間

啓発物品代/15,000円

献血アクティビティ・・・・・・・4月22日(水)



イオン登別店で買い物客へ
献血を呼びかけた。

労力/2.5H×7L=17.5H

採血/27名

採血量/10,800ml

クリーン作戦に参加・・・・・・・4月24日(金)



7:00より観光シーズンを前に
例年実施されている沿道のゴ
ミ拾いに参加した。

労力/1H×6L=6時間



アクティビティの記録

室蘭東LC

第10回室蘭市障がい者と保護者のためのボウリング大会を開催 ……4月19日(日)



10時よりディノスポウル室蘭の全レーンを貸切、ボウリング大会を開催。136名の障害者と保護者が参加。メンバー11名がお手伝いをした。
 金銭ACT 194,391円
 (ゲーム代・景品代 他)
 労力ACT 44時間

「緑の募金」街頭募金活動 ……5月21日(木)



13時より16時までイオン室蘭店 国道側にて「緑の募金」の街頭活動を行う。
 メンバー14名参加
 労力ACT 14時間
 金銭ACT 10,718円

伊達LC

新入学児童に対する交通安全啓発の実施 ……4月7日(火)



伊達市内小学校3校の入学式当日に、各小学校にメンバーが分かれて参加し、「伊達ライオンズクラブ」ネーム入り鉛筆2本セットを登校して来た新一年生に配布しながら交通安全の呼びかけを行いました。

伊達小学校 L10人×1H=10H 伊達西小学校 L10人×1H=10H 伊達東小学校 L8人×1H=8H
 ネーム入り鉛筆代金 32,961円

献血協力の呼掛け開催 ……5月7日(木)



時間/12:30~16:30
 場所/伊達市農協前
 献血量/400ml×33名=13,200ml
 労力/L16人×1H=16H
 長時間の為、メンバーは交替で呼びかけに参加した。

春の全国交通安全運動セーフティーコール「旗の波運動」に参加 ……5月11日(月)



時間/11:00~
 場所/伊達カルチャーセンター前国道37号線沿い
 労力/L19人×0.5H=9.5H

「緑の募金」として ……5月14日(木)

公益社団法人 北海道森と緑の会へ10,000円の寄付金拠出。

白老LC

リサイクル眼鏡回収 ……2月25日(水)~3月25日(水)



2月25日~3月25日までの1ヶ月、10ヶ所に設置箱を置いて回収いたしました。
 労力ACT 8時間40分
 金銭ACT 1,930円

SLポロト号シート外し ……4月22日(水)



白老駅裏に設置してありますSLポロト号の冬囲いをしてシート外しを致しました。
 労力ACT 14時間

薬物乱用防止教室を開催 ……4月24日(金)



白老白翔中学校の生徒を対象に薬物乱用防止教育講師認定証を持っている会員が講師になり開催致しました。
 労力ACT 14時間
 金銭ACT 34,630円

室蘭北斗LC

「緑の羽根」街頭募金呼びかけ・・・5月21日(木)



例年実施の「緑の募金運動」協力

長崎屋中島店前にて13:00～16:00迄、参加メンバー10名が交代で来店者に募金協力を呼び掛け、集まった15,003円を寄託。

労力ACT/ 延べ14H 金銭ACT/ 15,003円

登別中央LC

新入学児童への交通安全啓発に参加・・・4月8日(水)



市立富岸小学校にて新1年生や父母に交通安全を啓発し、会長から啓発物品を手渡した。

労力/1H×4L=4時間
啓発物品代/15,000円

桜並木の沿道清掃奉仕・・・5月24日(日)



1987年事業として同桜並木を整備して以来、毎年清掃奉仕を实践。今年も5月24日(日)ローラー作戦を開始ゴミ拾いをした。

第4R

函館東LC

**「タオルボランティア」
地区統一アクティビティ・・・3月23日(月)**



社会福祉法人七飯有隣会
介護有料老人ホームゆうへた
オル200枚寄贈。
金額 20,000円

ネパール大地震被災者支援金・・・5月25日(月)

ネパール大地震被災者支援金として16,500円をLCIFに寄付

函館海峡LC

献血ACT・・・・・・・4月7日(火)

村瀬鉄工所にて12:00～13:00まで献血ACT
400ml×6名 計 2,400ml

献血ACT・・・・・・・4月9日(木)

ロワジュールホテルにて15:30～17:00まで献血ACT
400ml×9名 計 3,600ml

立待岬「はまなす公園」清掃ACT・・・5月1日(金)

函館市の名勝 立待岬「はまなす公園」を清掃しました。
観光客が函館観光を楽しんで帰って頂ける事を願っております。

献血ACT・・・・・・・5月20日(水)

(株)竹田食品にて9:00～11:30まで献血ACT
200ml×3名 400ml×18名 合計 7,800ml

LCIFネパール支援金・・・・・・・5月25日(月)

LCIF ネパール支援金としてLCIFに12,000円寄付



アクティビティの記録

上磯LC

新入学児童への交通安全 「旗の波」街灯啓発・・・4月6日(月)

上磯ライオンズクラブは渡島振興局・北海道警察・市交通安全協会や多くの地域の皆さんと、昨年11月大野地区で「交通事故死ゼロ」の願いを込め交通安全宣言を行ったのを機に、大野小学校の入学式に合わせ新入学児童を交通事故から守り、ドライバーには安全運転を呼びかける「旗の波街灯啓発」を大野小学校前で実施した。 労力ACT10H 10名参加



「道南の未来を考える会」 屋台等出店に協力・・・5月10日(日)



第19回北斗陣屋桜まつり協賛「道南の未来を考える会」の屋台等出店に協力し、上磯LCのPRを行った。当日は、肌寒い日であったが、多数の老若男女が参加した「くじびき」はずれなしのゲームのお手伝いや、焼きそば・カレースープ販売に協力した。

労力ACT18H 9名参加

どんぐりの森草刈・・・5月20日(水)



当日は生憎の雨となったが、会員である株金澤組の協力を得て予定通り「どんぐりの森」の草刈りを実行した。

1997年5月10日植樹し今年で18年。木の高さも大きいもので約25m、小さい木でも約20mくらいに伸びていた。溪流

釣り等で知られる綺麗な水が流れる盤の沢の通り道に植樹したので、ここを訪れた方はどんぐり拾いも楽しめる。雨の日の作業となったが久々の労力アクトを行った。 労力18H 9名参加

ネパール大地震支援金・・・5月25日(月)

500円×28名=14,000円

函館元町LC

献血ACT・・・3月30日(月)



イトーヨーカドー函館店にて献血呼びかけを行い37名14200mlの献血協力して頂きました。

労力ACT
11人4H=44MH

献血ACT・・・5月

5月11日	献血ACT(マルナマ食品)	合計13名	4400ml
5月11日	献血ACT(ホンダカーズ函館)	合計23名	8800ml
5月18日	献血ACT(大谷短期大)	合計8名	3000ml
5月20日	献血ACT(スーパー魚長八幡店)	合計9名	3200ml
5月21日	献血ACT(NHK函館放送局)	合計6名	2000ml
5月21日	献血ACT(函館歯科衛生士学校)	合計18名	6800ml



ACT 17人 31H 527MH

八雲LC

噴火湾パノラマパーク植樹例会・・・4月18日(土)



噴火湾パノラマパークにて植樹例会を開催致しました。ブルーベリー、カシス、ハスカップ、合計180本を植樹しました。

第33回少年の主張八雲大会・・・5月9日(土)



第33回少年の主張八雲大会が町民センターで開催されました。



小学生11名、中学生16名のすばらしい発表でした。

森 L C

**ライオンズカップ近隣町
中学校野球大会・・・5月9日(土)**



森町民野球場において、ライオンズカップ近隣町中学校野球大会が5チームの参加俊にて行われました。春一番の大会として各学校非常に重要視している大会です。今年度は地元森中学校が優勝しました。

金銭ACT 50,000円

函館中央LC

ネパール大地震被害支援金・・・5月14日(木)

金額ACT 30,000円

献血ACT・・・5月17日(日)

43名 17200ml

北斗中央IC桜植樹・・・5月24日(日)



北斗中央インターチェンジ桜の木植樹ACTが行われました。会長L川嶋所用で欠席のため環境保全委員長L櫻井の挨拶後植樹にご協力いただいた一般社団法人日本森林林業振興会札幌支部函館支所支所長高橋忠様から挨拶と説明を頂き作業開始です。桜の木10本を予定してましたが3年前に植樹した国の子寮の桜が1本枯れたため9本植樹し国の子寮に1本植樹しました。事前に植える穴を掘って頂いたのに植樹をする事が出来終了後はゴミ拾いを行いました。晴天の下気持ち良く汗を掻く事が出来ました。7月には草刈りACTを予定しています。高橋様はじめ日本森林林業振興会の皆様そして参加してくれたメンバー御苦勞様でした。

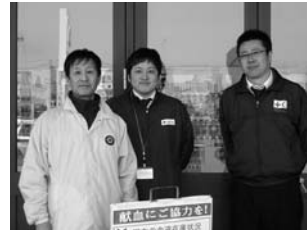
函館臥牛LC

献血アクティビティ・・・3月25日(水)



救護施設・高丘寮
15:00～17:00
200ml～0名
400ml～19名=19名
献血量=7,600ml
労力奉仕メンバー
3名×2.0H=6.0H

献血アクティビティ・・・3月29日(日)



ダイエー上磯店
9:30～11:30 12:45～16:30
200ml～3名
400ml～37名=40名
献血量=15,400ml
労力奉仕メンバー
3名×5.25H=17.25H

献血アクティビティ・・・4月6日(月)



ラルズマート桔梗店
14:30～17:00
200ml～3名
400ml～11名=13名
献血量=4,800ml
労力奉仕メンバー
4名×2.5H=10.0H

献血アクティビティ・・・4月24日(金)

(株)プリントハウス 14:00～15:40
400ml～9名=9名 献血量=3,600ml
労力奉仕メンバー 6名×1.7H=10.20H
☆4月献血量(4回) 合計=14,400ml
☆4月労力奉仕メンバー 合計=16名
☆4月労力奉仕時間 合計=43.45時間

献血アクティビティ・・・5月8日(金)



ビッグハウス
アドマーニ美原店
12:00～16:30
200ml～2名
400ml～24名=26名
献血量=10,000ml
労力奉仕メンバー
7名×4.5H=31.5H

☆5月献血量(1回) 合計=10,000ml
☆5月労力奉仕メンバー 合計=7名
☆5月労力奉仕時間 合計=31.5時間



アクティビティの記録

第5R

苦小牧LC

春の交通安全運動4月8日(水)



新入学児童へ春の交通安全運動の呼びかけを実施。市立緑小学校103名の新一年生一人ひとりに、会員22名が参加し学用品を手渡した。労力ACT時間:22H
金銭ACT金額:47,628円

「田んぼのオーナー」企画料 ..4月24日(金)

今年も秋の豊作に期待しつつ田んぼの申込をしました。金銭ACT金額:25,000円

苦小牧ライオンズクラブ旗争奪第44回苦小牧少年剣道大会後援5月17日(日)



今年の苦小牧地方は、春の訪れも良く、大会当日も天候に恵まれました。5月17日(日)当会場の苦小牧市総合体育館には、今年の参加選手、小学生(男・女)80名、中学生(男・女)47名、少年剣士127名の参加でした。試合は、小学生・中学生の各学年別の個人戦と、各道場別対抗の団体戦が最後まで、一喜一憂し、最後に小中学生団体の優勝チームに、クラブ旗を渡し無事終了しました。

労力ACT時間:17H

「緑の募金」5月21日(木)

「苦小牧市まちを緑にする会」より例会場にて募金の協力のお願いにいらっしゃいました。会員より9,460円集りました。金銭ACT金額:9,460円

静内LC

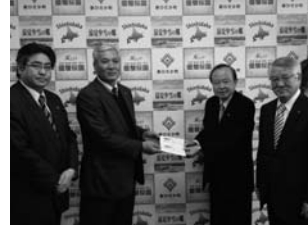
献血推進アクティビティ3月18日(水)



午前9時より新ひだか町役場前、午後1時よりイオン静内店前にて献血推進ACTを実施。広報車にて献血協力を町民に呼び掛けました。また、献血協力者40名に粗品を配布しました。尚、町内20カ所に献血車日程のポスターも掲示しました。

200ml×1名 400ml×60名 計24,200ml
参加:18L 経費4,200円

奨学資金・図書購入資金を新ひだか町へ寄付3月23日(月)



奨学資金・図書購入資金各100,000円を新ひだか町へ寄付しました。累計:奨学資金⇒(52回目)4,813,500円(昭和41年より) 図書購入資金⇒4,978,400円2,520冊(昭和45年より)

献血推進アクティビティ4月21日(火)



午前9時より新ひだか町公民館前午後1時30分よりマックスバリュ静内店前にて献血推進ACTを実施。事前に町内19カ所に献血車日程ポスターを掲示しました。広報車にて献血協力を町民に呼び掛けました。又、献血協力者40名に粗品を配布。

受付57名×400ml 計22,800ml 経費:4,200円
参加L:15L

交通啓発及び清掃アクティビティ ..4月26日(日)



静内車検場にて交通安全啓発ACTを実施。旗波作戦及びドライバには交通安全パンフレット・お茶等を配布、交通安全を呼び掛けました。また、交通安全啓発ACT終了後、車検場付近国道のゴミ拾いを実施しました。 参加L:19L

門別LC

交通安全街頭啓発5月15日(金)



国道235号線・237号線の交差点にて13:00~30分間交通安全の呼びかけを実施しました。気温8度で大変寒かった。ACT:18H

新冠 LC

春の交通安全運動「人の波作戦」実施
 ……………4月6日(月)



各団体と協力し新冠町レコード館前の国道沿いに立ち、ドライバーに安全運転の呼びかけを実施した。

春の交通安全運動「街頭指導」実施
 ……………4月8日(水)～4月13日(月)

4月8日～13日までの4日間、春の交通安全運動「街頭指導」実施。

新入学児童を交通事故から守ろうと登校時間に合わせ通学路の交差点2カ所に立ち街頭指導を実施した。

地域安全運動「防犯のぼり旗」作成協力
 ……………5月7日(木)



新冠町防犯協会へ地域安全運動「防犯のぼり旗」作成に協力。

苫小牧ハスカップLC

苫小牧ハスカップLC 手作り結婚祝い品
 ……………4月24日(金)



2014-2015年度の苫小牧ハスカップLCの結婚お祝いのプレゼントは小沼 和夫幹事の手作りお盆です。

心のこもった品物が会員全員の結婚祝いに例会会場にて贈呈されています。

ネパール大地震被災者支援金
 ……………5月15日(金)

ネパール大地震支援金30名分127\$レート119円
 金銭ACT 15,113円

鵜川 LC

花壇花植えアクティビティ……5月7日(木)



穂別愛誠園、鵜川交番、LC事務所の3カ所の花苗260株植栽しました。

労力ACT:11L×2H=22H
 金銭ACT:花苗 10,000円

2015鵜川ライオンズクラブ 桜・松植樹事業実施
 ……………5月18日(月)



2018年に予定している当クラブ認証50周年記念事業として昨年からの実施している。今年は鵜川中・高校生71名に参加して頂き、むかわ町職員の指導も受け「まちの森」公園にエゾヤマザクラ200本と赤エゾ松100本植栽しました。

献血アクティビティ ……………5月21日(木)



むかわ町四季の館・ワークム北海道の2カ所で実施。献血協力者に玉子進呈(今年度4回目)

労力ACT:8L×5H=40H
 金銭ACT:玉子 80ケース
 13,440円

苫小牧中央LC

サッカー後援お願い回り ……5月27日(水)
 3L×2h=6h

ネパール大震災支援金(LCIF) ……5月28日(木)
 @500円×54名=27,000円 合計13時間

安平 LC

ビューティーサポートR234 花壇整備ボランティア ……5月21日(木)

早来駅前の花壇整備(除草作業)に参加しました。
 労力ACT…1人×1H=1H



アクティビティの記録

ネパール大震災害献金5月

1人500円×23名=16,000円送金

第27回全道高齢者ペタンク大会協賛5月31日(日)



ときわ公園に於いて開催された全道高齢者ペタンク大会に協賛しました。

大会は、全道各地より、20チーム(1組3名)が参加しました。

金銭ACT...10,000円
労力ACT...3H

厚真LC

鯉のぼり掲揚アクティビティ4月14日(火)・4月27日(月)



青少年の健全育成を目的として、上厚真地区に約100匹の鯉のぼりを掲揚。

通学路を通う児童やパークゴルフを訪れた人達の目を楽しませている。

4月14日・鯉のぼり修理作業
労力ACT~6L×1H=6H

4月27日・鯉のぼり掲揚作業 労力ACT~13L×2H=26H

新入学児童へ記念品贈呈4月7日(火)



厚真中央小学校、上厚真小学校の入学式に出席。記念品のスケッチセットにメッセージカードを添えて贈呈。

労力ACT~3L×2H=6H
金銭ACT~83,160円

鯉のぼり撤去作業5月6日(水)



青少年健全育成を目的に掲揚した鯉のぼりを撤去。

労力ACT~13L×1H=13H

「セーフティコールあつま」街頭啓発参加5月11日(月)



交通安全運動、街頭啓発に参加協力。

労力ACT~7L×1H=7H

ネパール大地震支援金拠出 ..5月20日(水)

金銭ACT~32L×5ドル=160ドル(19,040円)

苫小牧白鳥LC

春の交通安全呼び掛けアクティビティ4月8日(水)



実施場所 若草小学校
10:30~13:00まで

参加L 18名
労力ACT時間 45時間

(2.5H×18)

金銭ACT 42,000円

姉妹クラブ 福島東LCへ例会訪問 ..4月8日(水)

被災地 南相馬市へ向かう

軌跡の1本松保存会へ 寄付金銭ACT 10,000円

桜の木育成事業継続アクティビティ4月8日(水)



実施場所 金太郎の池周辺
桜の木に肥料を入れました。

天気にもまれ作業も手早くできました。

参加L 27名

労力ACT時間 81時間
(3H×27)

金銭ACT 11,570円

ネパール大地震支援金アクティビティ5月19日(火)

ネパール大地震支援金

金銭ACT @500×62名分 31,059円(261\$)

第 1 R



函館LC
L山本正人

1977年7月29日生
株式会社 Barリアン 店長
入会/2015年4月2日
スポンサー/L 滝川康夫

函館LC 家族会員
L志賀松智恵美

1955年10月7日生
有志賀松設備工業 取締役
入会/2015年4月2日
スポンサー/L 志賀松晋

函館LC 家族会員
L滝川明美

1970年6月3日生
ロマンティコ ロマンティカ(カフェ)
入会/2015年4月2日
スポンサー/L 滝川康夫

函館LC 家族会員
L長谷川知美

1974年5月14日生
ロマンティコ ロマンティカ(カフェ) 店長
入会/2015年4月2日
スポンサー/L 滝川康夫



松前LC
L高橋雄一

1967年11月18日生
三井生命保険(株)松前営業部 営業部長
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 佐藤均



福島LC
L出羽正機

1952年5月9日生
福島町商工会 事務局長
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 河原塚利雄



福島LC
L横内俊悦

1955年3月15日生
福島町 副町長
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 河原塚利雄

第 2 R



岩内LC
L清原一美

1961年5月5日生
北海信用金庫岩内支店 支店長
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 笠島朗



寿都LC
L長尾文裕

1955年11月22日生
法善寺 代表役員、住職
入会/2015年5月21日
スポンサー/L 中田仁史



黒松内LC
L加藤邦彦

1960年3月31日生
黒松内小学校 校長
入会/2015年4月16日
スポンサー/L 出口雅昭



小樽中央LC
L福山道弘

1963年8月7日生
株JTB北海道小樽支店 支店長
入会/2015年3月11日
スポンサー/L 岩永篤

倶知安LC 家族会員
L水野陵子

1963年12月9日生
入会/2015年5月16日
スポンサー/L 水野浩志

倶知安LC 家族会員
L西村祐子

1969年12月1日生
入会/2015年5月16日
スポンサー/L 西村富英

倶知安LC 家族会員
L大広克子

1967年1月19日生
入会/2015年5月16日
スポンサー/L 大広直



新入会員・家族会員のご紹介



小樽うしおLC
L高橋伸幸

1958年8月12日生
銜山高 高橋建設 代表取締役
入会/2015年4月14日
スポンサー/L 木村嘉広



小樽うしおLC
L佐々木 悟

1958年1月10日生
銜佐々木板金工作所 代表取締役
入会/2015年4月14日
スポンサー/L 木村嘉広

第 3 R

室蘭LC 家族会員
L高橋 宜子

1954年7月1日生
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 高橋國夫

室蘭LC 家族会員
L丸山しゅん

1939年3月3日生
㈱丸山商店 役員
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 丸山貴陸

室蘭LC 家族会員
L田村 明子

1948年9月12日生
東新・田村賢治郎商店
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 田村賢文

室蘭LC 家族会員
L長原 幸子

1947年9月17日生
銜花のながはら 代表取締役
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 長原俊雄

登別中央LC 家族会員
L阿部 京子

1956年1月27日生
銜M・A技建 取締役
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 金子政弘

第 4 R

南茅部LC
L福井伸一

1958年3月8日生
函館市立白尻中学校 校長
入会/2015年4月23日
スポンサー/L 三浦優



森LC
L山本友紀

1969年12月26日生
㈱ニチレイフーズ森工場 工場長
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 木村俊広



鹿部LC
L岡頭 慎一

1953年4月7日生
鹿部町立しかべ幼稚園 園長
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 高橋豊彦



鹿部LC
L佐藤 明治

1958年1月27日生
鹿部町役場 副町長
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 高橋豊彦

第 5 R



静内LC
L飛山和幸

1961年1月2日生
㈱TIPS 代表取締役
入会/2015年4月23日
スポンサー/L 澤谷幸弘

門別LC
L亀上 知一

1957年2月2日生
日本生命富川支店 支部長
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 湯村勝



苫小牧中央LC
L石田 芳人

1955年3月25日生
苫小牧信用金庫 常務理事
入会/2015年4月1日
スポンサー/L 渡部義男



安平LC
L村井 克彦

1955年9月26日生
安平町役場 副町長
入会/2015年3月1日
スポンサー/L 三倉盛一

5月末現在会員数

	期首	前月末	入会		退会		今月末	比較	
			当月	累計	当月	累計	当月	期首	当月
クラブ数	52	53	0	1	0	0	53	1	0
会員数	1,792	1,978	19	323	10	128	1,987	195	9

討 報

ありし日を偲び 謹んでご冥福をお祈りいたします



故L 神戸 正三

小樽グリーンLC
平成27年5月13日ご逝去
(享年90歳)

1967年 チャーターメンバー
1970年 クラブ幹事
1981・1982年 キャビネット視力保護・盲人福祉副委員長
1968年～理事など役職歴任

編集 後記

エコー誌もいよいよ第6号の発行で大詰めになりました。松浦ガバナーの集大成である函館大会式典が、5月16日と17日の両日間開催されました。黒汁楽団のド派手なリズムが奏でる前夜祭も含めて、参加したメンバーから大成功を祝する反響に、CAB一同安堵感いっぱいの様相。今回は表紙に来年開通する北海道新幹線駅の写真を使用。本文は大会ダイジェスト写真。最終回のCAB会議とガバナー東奔西走記を載せました。第7号に地区大会特集を編集して最終回になります。1年間のご愛読に感謝申し上げます。

PR・情報・IT 委員長 L 酒井好一



北海道新幹線は2005年(平成17年)5月22日に新青森駅と新函館北斗駅の間(148.4km)が着工されてから、2016年3月開業予定まであと9ヶ月ほどとなりました。新函館北斗駅、木古内駅の駅舎に駅名が取り付けられているのを見ると、もうすぐ開業だという実感が湧いて来ます。地元では開業を記念したイベントが実施、企画されており1日も早い開業が待ち望まれ、開業ムードでいっぱいになっています。東京から新函館北斗まで約4時間となり新幹線の開業で、観光客はもちろんですがビジネス客も増えて、開業によってどれだけの経済効果をもたらすのか地元では日に日に期待が高まっています。



THE LIONS

ECHO エコー

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

函館キャビネット事務局

〒041-0851 北海道函館市本通2丁目16番7号 2F

TEL (0138) 52-0188 FAX (0138) 52-0288

E-mail : cab331c@wave.plala.or.jp